

ユーシン

景況レポート

Number.106
(2020.10~12月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業230企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし



概況(10月▶12月期)

業況は、小売業・サービス業・建設業・不動産業で改善

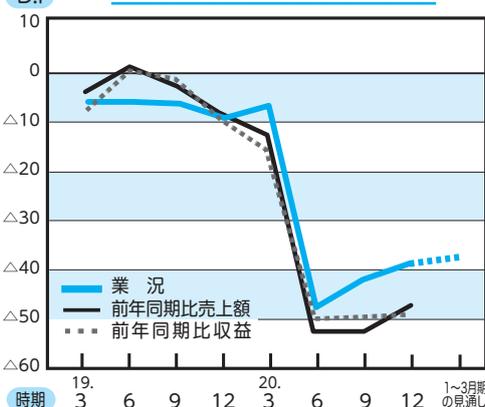
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△39.6と、2020年7~9月期(前期)の調査より2.8ポイントわずかに上昇し、景況感は小幅改善しました。

業種別では、製造業で前期比3.5ポイント、卸売業で同比7.5ポイント低下しましたが、小売業で同比7.3ポイント、サービス業で同比12.9ポイント、建設業で同比8.9ポイント、不動産業で同比5.5ポイント改善しました。

項目別では、売上額判断D.Iが△29.1と前期比4.5ポイント、収益判断D.Iが△27.4と同比6.7ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△47.8、前期比4.2ポイント、同収益判断D.Iが△49.1、同比0.2ポイントともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△7.0と前期比6.6ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比2.7ポイント改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比5.3ポイント低下しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が42.6%、「同業者間の競争激化」が29.6%、「利幅の縮小」が15.2%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか」の質問に対し、「やや悪い」との回答が43.5%と最も多く、次いで「悪い」との回答が35.2%という結果となりました。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

業況の見通し判断D.IIは△37.0、当期実績比2.6ポイント改善の見込

来期は、製造業・建設業・不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.9ポイント、収益判断D.Iでも同比2.6ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比0.4ポイント改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.4ポイント低下、残業時間判断D.Iは同比0.9ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が50.9%、「販路を広げる」が40.0%、「人材を確保する」が14.8%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

業種名	時期	2年7月~9月	2年10月~12月	3年1~3月見通し	概	要
総合					業況判断D.IIは、2.8ポイント改善し△39.6。来期は、2.6ポイント改善し△37.0の見通し。	
製造業					業況判断D.IIは、3.5ポイント低下し△55.6。来期は、7.0ポイント改善し△48.6の見通し。	
卸売業					業況判断D.IIは、7.5ポイント低下し△46.9。来期は、3.1ポイント低下し△50.0の見通し。	
小売業					業況判断D.IIは、7.3ポイント改善し△36.6。来期は、7.3ポイント低下し△43.9の見通し。	
サービス業					業況判断D.IIは、12.9ポイント改善し△38.7。来期は、3.2ポイント低下し△41.9の見通し。	
建設業					業況判断D.IIは、8.9ポイント改善し△11.1。来期は、8.3ポイント改善し△2.8の見通し。	
不動産業					業況判断D.IIは、5.5ポイント改善し△27.8。来期は、16.7ポイント改善し△11.1の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】

10~12月の実績	2.8	38.9	58.3
1~3月の見通し	9.7	32.0	58.3

【売上額】

10~12月の実績	11.1	41.7	47.2
1~3月の見通し	12.5	41.7	45.8

【原材料価格】

10~12月の実績	4.2	84.7	11.1
1~3月の見通し	1.4	86.1	12.5

【収益】

10~12月の実績	11.1	45.8	43.1
1~3月の見通し	9.7	50.0	40.3

■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△55.6、前期比3.5%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△36.1と前期比20.2%、収益判断D.Iが△31.9と同比18.8%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△54.2、前期比9.2%、同収益判断D.Iが△55.6、同比5.0%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが1.4と前期比9.9%低下し、人員の余剰感が弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△22.2と前期比8.8%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3%（前期38.0%）、「予定あり」が13.9%（同16.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は11.1%（前期7.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が51.4%、「同業者間の競争激化」が26.4%、「利幅の縮小」が18.1%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

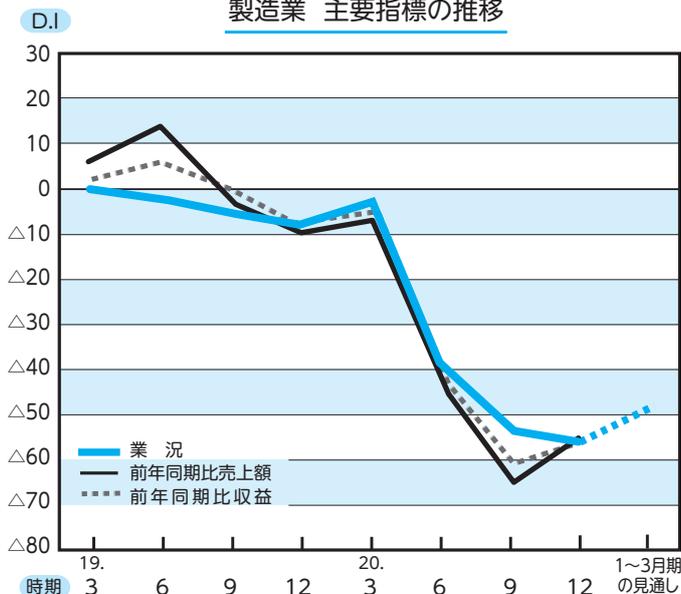
業況の見通し判断D.Iは△48.6、当期実績比7.0%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.8%、収益判断D.Iでも同比1.3%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4%低下、残業時間判断D.Iは同比1.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」・「経費の節減」がそれぞれ51.4%、「人材を確保する」が16.7%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



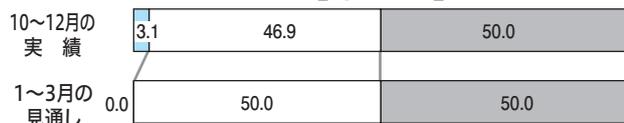
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響を受け、依然として減収傾向が続いている。当面、厳しい状況が続くと見込んでおり、部門ごとの採算性見直しに取組み、収益確保に努める方針でいる。

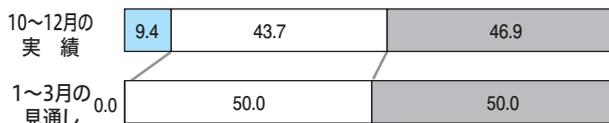
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

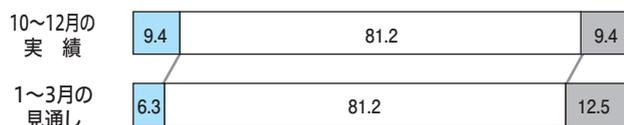
【業 況】



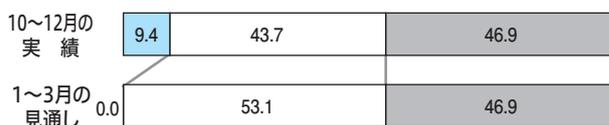
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△46.9、前期比7.5%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△37.5と前期比10.2%、収益判断D.Iが△37.5と同比10.2%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△59.4、前期比17.0%、同収益判断D.Iが△62.5、同比23.1%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.3と前期比0.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△9.4と前期比0.3%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が28.1%（前期21.2%）、「予定あり」が12.5%（同21.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.3%（前期9.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が56.3%、「同業者間の競争激化」が28.1%、「利幅の縮小」が21.9%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

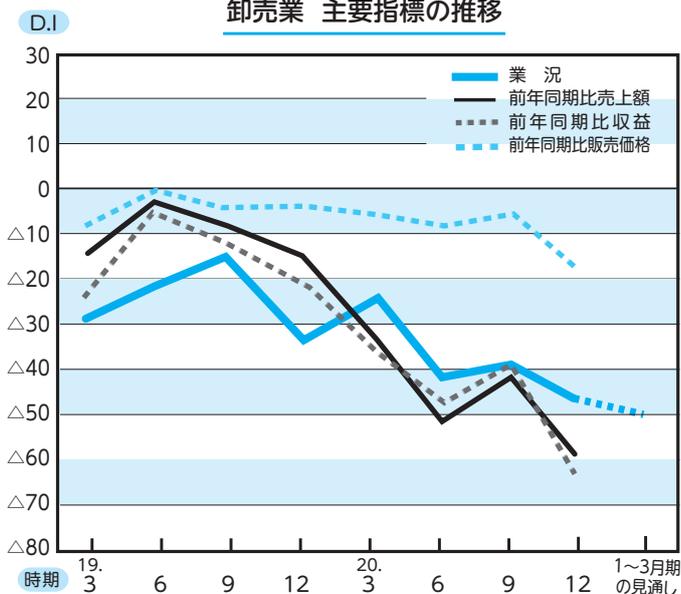
業況の見通し判断D.Iは△50.0、当期実績比3.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.5%、収益判断D.Iでも同比9.4%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比9.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%改善、残業時間判断D.Iは同比6.2%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が59.4%、「経費の節減」が53.1%、「情報力の強化」が25.0%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響による需要の低迷に加え、天候が安定したことによる野菜の生産過多により卸値が大幅に下落。業況回復が見通せない状況。

■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】

10~12月の実績	9.8	43.9	46.3
1~3月の見通し	4.9	46.3	48.8

【売上額】

10~12月の実績	14.6	36.6	48.8
1~3月の見通し	9.8	41.4	48.8

【仕入価格】

10~12月の実績	12.2	78.0	9.8
1~3月の見通し	9.8	78.0	12.2

【収 益】

10~12月の実績	14.6	43.9	41.5
1~3月の見通し	9.8	43.9	46.3

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 □ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△36.6、前期比7.3%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△34.1と前期比2.4%低下、収益判断D.Iが△26.8と同比4.9%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△51.2、前期比4.9%、同収益判断D.Iが△43.9、同比9.8%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.2と前期比7.3%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比2.4%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.5%（前期26.8%）、「予定あり」が12.2%（同9.8%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.8%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.0%、「同業者間の競争激化」が29.3%、「大型店との競争激化」が24.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

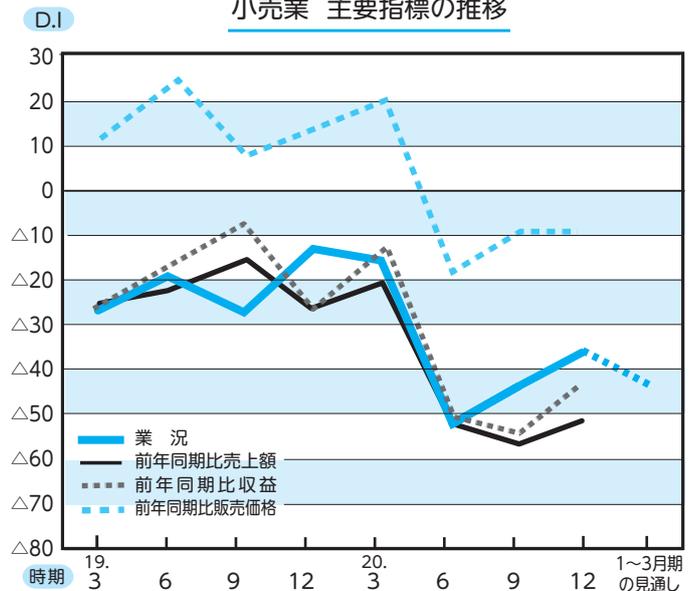
業況の見通し判断D.Iは△43.9、当期実績比7.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.9%、収益判断D.Iでも同比9.8%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iでも同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.2%、「品揃えを改善する」が34.1%、「売れ筋商品の取扱」が24.4%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

セルフレジの導入により作業効率化につながっている。一方、一部商品(衣料品)を都内から仕入れているが、コロナ禍により十分な仕入が行えていない。

■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

【業況】

10~12月の実績	6.5	48.3	45.2
1~3月の見通し	3.2	51.6	45.2

【売上額】

10~12月の実績	16.1	45.2	38.7
1~3月の見通し	6.5	54.8	38.7

【材料価格】

10~12月の実績	6.5	90.3	3.2
1~3月の見通し	3.2	93.6	3.2

【収益】

10~12月の実績	16.1	51.6	32.3
1~3月の見通し	9.7	54.8	35.5

増加・やや増加(良い・やや良い)
 変わらず(変化無し)
 やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△38.7、前期比12.9%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△22.6と前期比3.2%、収益判断D.Iが△16.1と同比6.5%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△48.4、前期比12.9%、同収益判断D.Iが△45.2、同比16.1%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△3.2と前期比12.9%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△29.0と前期比3.2%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期35.5%)、「予定あり」が16.1%(同9.7%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.2%(前期6.5%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.9%、「売上の停滞・減少」が32.3%、「商圈人口の減少」が19.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

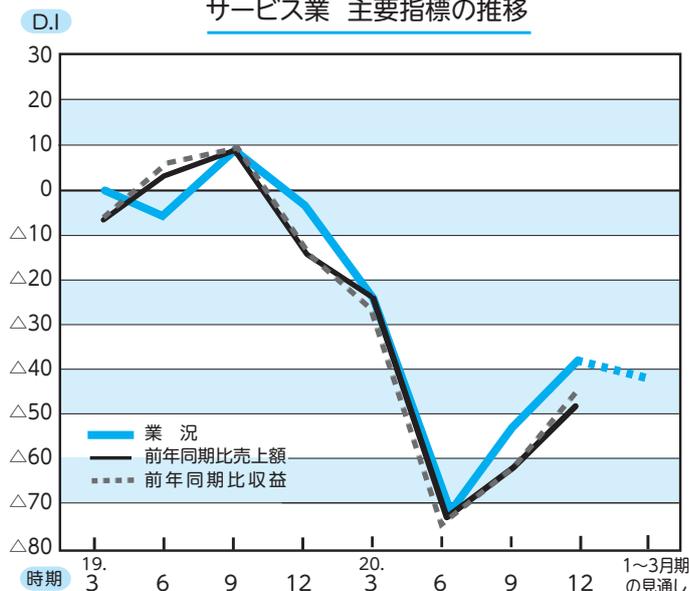
業況の見通し判断D.Iは△41.9、当期実績比3.2%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7%、収益判断D.Iでも同比9.7%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.3%、残業時間判断D.Iでも同比3.3%ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.3%、「販路を広げる」が48.4%、「宣伝・広告の強化」が29.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移

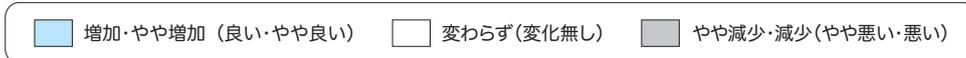
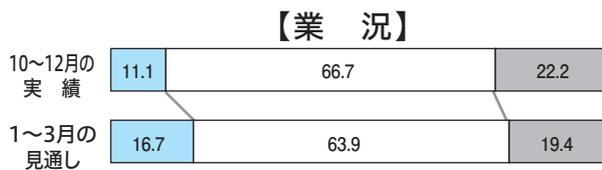


調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染症防止のため、来店を予約制にするなど密を発生させない取組を継続中。なお、人員が過剰であると感じられる。

■ 建設業

回答企業数36企業(回答率100%)



景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比8.9%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△13.9と前期比8.2%、受注残判断D.Iが△16.7と同比8.1%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△25.0、前期比9.3%改善、同収益判断D.Iが△33.3、同比4.7%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比2.3%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と前期比5.8%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%(前期40.0%)、「予定あり」が13.9%(同22.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は11.1%(前期5.7%)となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ30.6%、「人手不足」・「下請の確保難」がそれぞれ25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

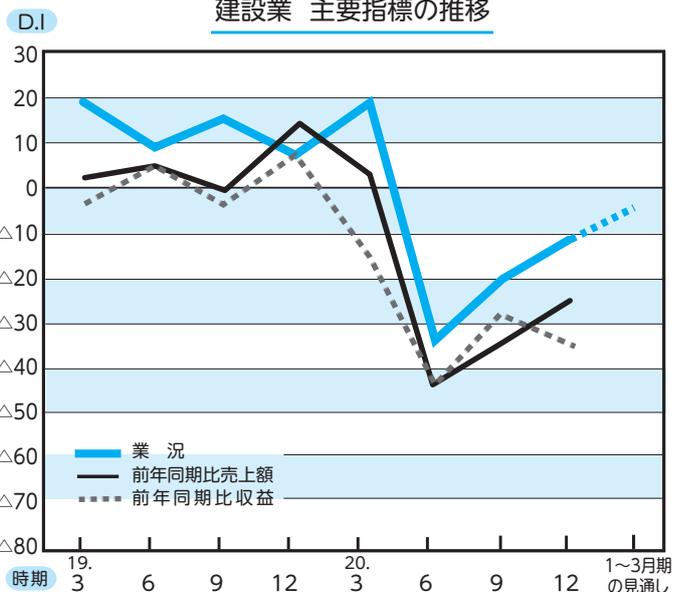
業況の見通し判断D.Iは△2.8、当期実績比8.3%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比8.4%改善の見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比8.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が50.0%、「販路を広げる」が38.9%、「人材を確保する」が33.3%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移

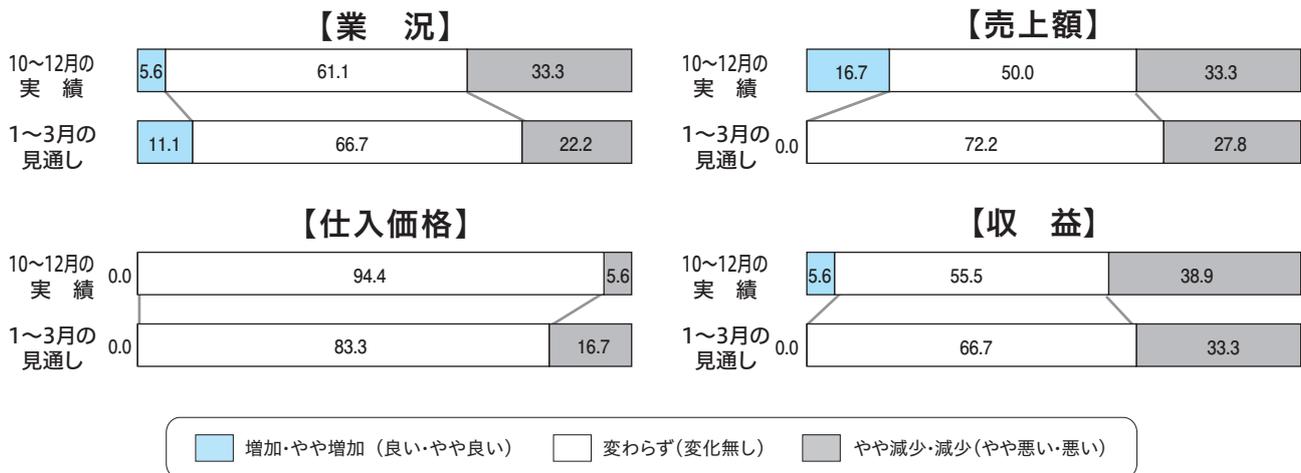


調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は依然としてあるが、公共工事含め受注状況は安定している。課題は、人員確保であり受注額や工期を見据え受注している。

■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)



景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△27.8、前期比5.5%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△16.7と前期比11.1%改善、収益判断D.Iが△33.3と同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△38.9、前期比5.6%、同収益判断D.Iが△50.0、同比16.7%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比横ばいとなり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%（前期22.2%）、「予定あり」が22.2%（同16.7%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「利幅の縮小」がそれぞれ33.3%、「大手企業との競争激化」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

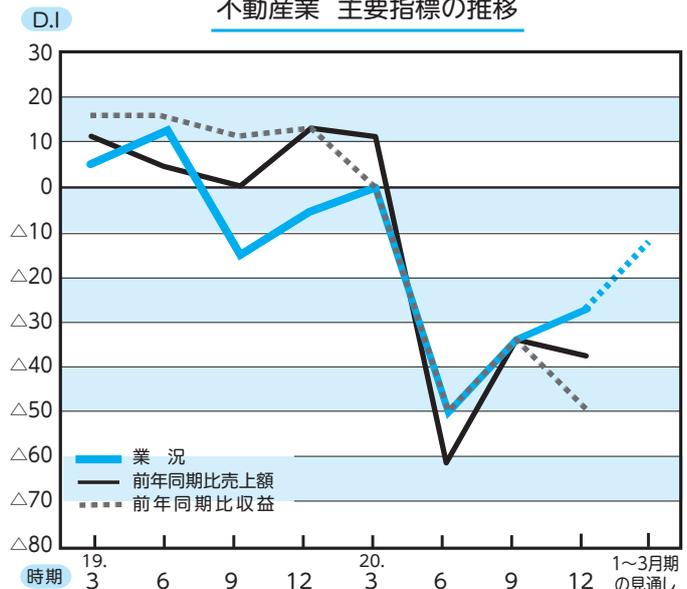
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比16.7%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1%低下、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.1%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.5%改善見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」が44.4%、「販路を広げる」・「情報力の強化」がそれぞれ38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は、不用不急の外出自粛が緩和され動きが戻ってきた。しかし、収入減少によるものなのか家賃滞納者の増加が懸念される。

特別
調査

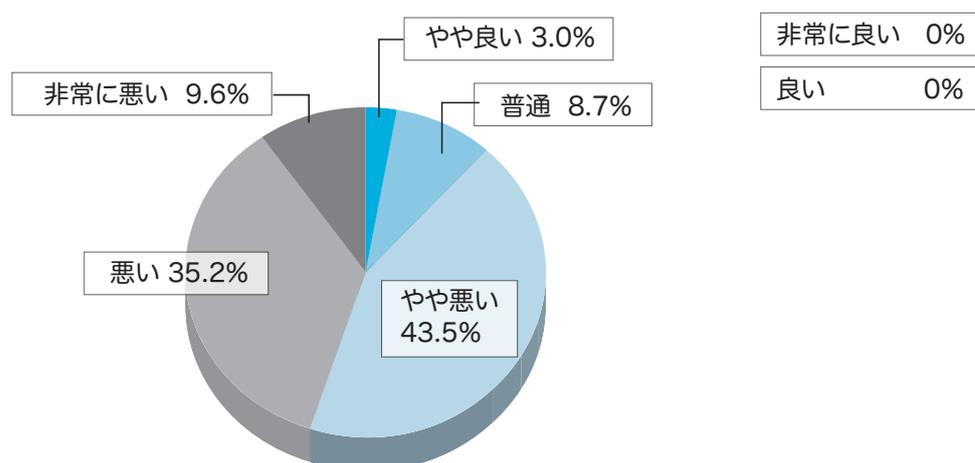
2021年(令和3年)の経営見通し

「2021年(令和3年)の経営見通し」について調査を実施しました。

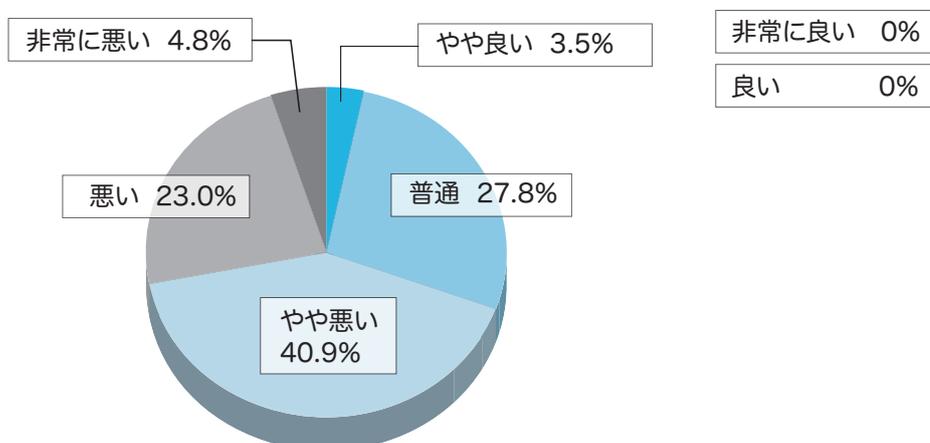
「貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか」の質問に対し、「やや悪い」との回答が43.5%と最も多く、次いで「悪い」との回答が35.2%という結果となりました。

そのほか、「貴社では、2021年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか」を、次のように取り纏めました。

問1 貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか。

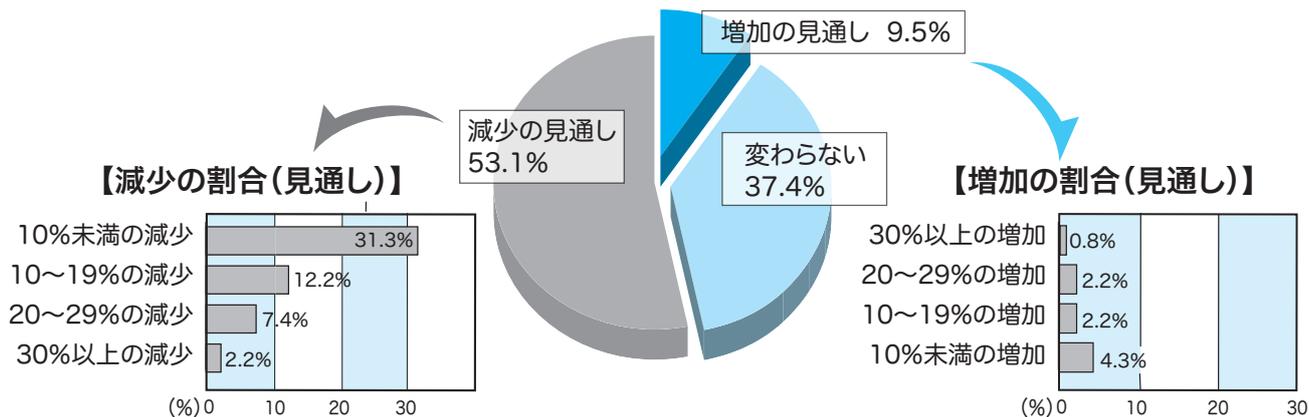


問2 貴社では、2021年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



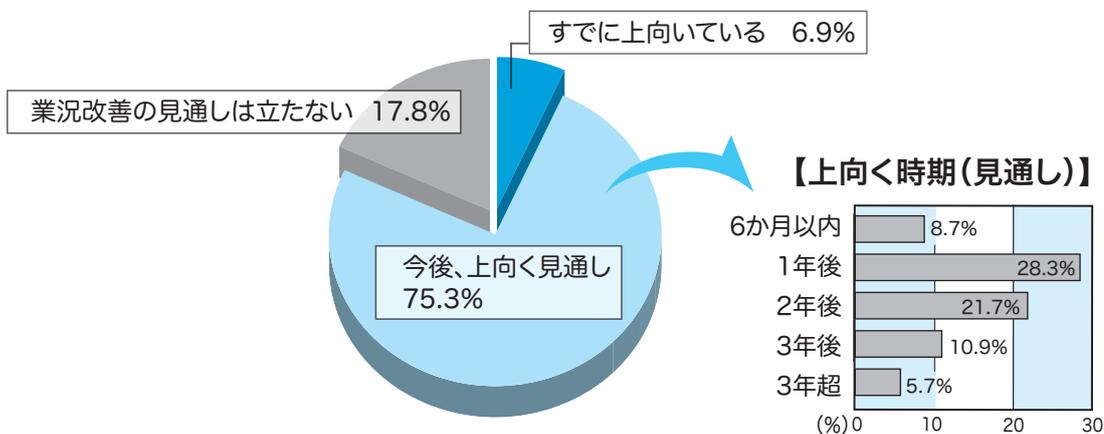
問3

2021年において貴社の売上額の伸び率は、2020年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



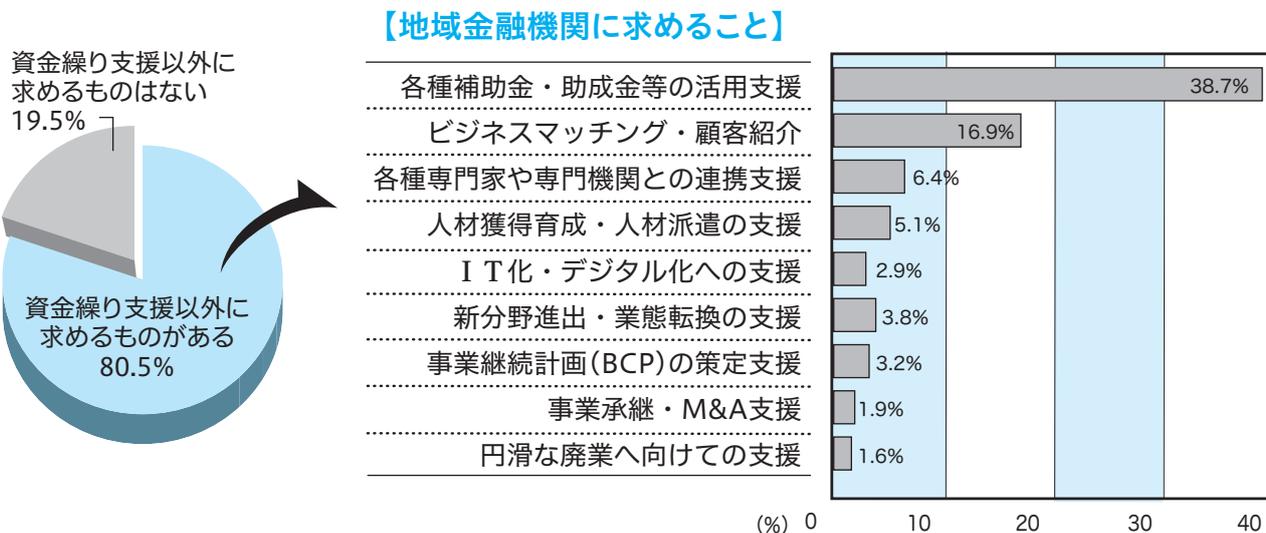
問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。



明けましておめでとうございます

令和3年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして
精進してまいる所存でございます。

本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫

理事長 石塚 清博



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。



下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（下記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

ブライダルローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

カーライフプラン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

教育プラン

ご融資金額 **500**万円以内（*1）

ご利用期間 **10**年以内（*2）

子育て応援プラン

ご融資金額 **100**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

リフォームプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **15**年以内

（*1）6年制大学の場合は1,000万円以内

（*2）6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので 勤務先へお知らせすることは一切ございません。

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>